

平成14年度 奈良県環境県民フォーラム事業実績

1. フォーラムの運営

- 総会の開催（日時：4月22日、場所：大和郡山市郡山城ホール）
記念講演「パートナーシップで取り組む環境保全活動」
講師：能村 聡 氏（京のアジェンダ21フォーラム事務局コーディネーター）
- 10人委員会の開催
- 各分科会の開催

2. 主要事業

(1)全体

●地球温暖化防止フェアの開催（県とグリーン購入ネットワークとの共催）

目的： 地球環境を守るために1人1人のライフスタイルを変える必要があり、グリーン購入の視点から地球温暖化防止の取組を推進する。

時期： 8月9日

場所： なら100年会館

内容： 基調講演（枚本育生氏）、パネルディスカッション、環境教育ミュージカル人形劇（すぎのこ文化振興財団）、フォーラム会員等の活動紹介、グリーン商品の展示 等

●機関紙「環境県民フォーラムだよ！」の発行（10月、3月）

目的： フォーラムの存在の外部へのアピール。フォーラム会員内の情報共有。

ページ数等見開き4ページ、A4版

発行部数：3,000部

配布先： 各会員、企業、関係団体、公共機関等

●奈良県環境県民フォーラムニュース（毎月）

目的： フォーラム会員交流の活性化、環境関連情報の共有。

内容： フォーラム会員主催の催し、近畿地方の環境関連のイベント・講演会、環境に関する新情報の提供。

(2)大気分科会

●エコライフファミリー登録事業

内容： 「県民行動指針」（ならエコライフガイド）を内容とするエコライフ実践者を募集。6月から募集を開始し3月末現在で303名の応募があった。登録者にイベントの紹介等環境情報の提供を行ったほか、ユニークな取組を県ホームページで紹介。

●タウンフォーラムの実施

内容： 11月30日、橿原市万葉ホールにて県と共催で実施。松村代表委員をコーディネーターに迎え、環境保全活動の実践を通じた地域におけるボランティア団体の取組みをテーマにパネルディスカッションを実施。

●バス見学会

目的： フォーラムの存在の外部へのアピール。フォーラム会員内の情報共有の場として実施。

対象： フォーラム会員、エコライフファミリー会員

内容： 3月18日に環境関連施設、水のEXPOを見学、約40名参加

(3)水分科会

●エコ見学会及び川の教室の実施（11月11日）

目的： フォーラム会員内の情報共有及び環境学習の一環

内容： 川上村の森と水の源流館、大滝ダム学べるステーションの見学と川上村婦人会とのEM菌学習交流会

●啓発活動

温暖化防止フェア等のイベントなどにおけるアクリルたわし普及啓発活動

●アース・デーinなら2002

目的： 生活排水の汚染負荷の減少の啓発及びフォーラムの存在の外部へのアピール

内容： ならコープ主催、水分科会を中心に「水質調査」のブースに会員が、自宅付近の川の水を持ち寄り、水質調査を実施

時期： 4月22日

場所： 奈良県第1浄化センター

(4)ごみ減量・リサイクル分科会

●環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

目的： 事業者の協力を得て、環境に配慮した商品・サービスの普及を図り、消費者の環境に配慮したライフスタイルの実践を促すため

内容： それぞれの店舗で、『環境配慮型商品の購入』、『簡易包装への協力』、『買い物袋の持参』等を消費者に呼びかける。

6月

フォーラムに参加しているスーパーで実施。

10月

県と共催で、県下26社（413店舗）のスーパー、商店街等、奈良県全域で実施。

●マイバッグ持参スタンプカードの共通化及びエコスタンプ制度の検討

目的： ごみ削減に対する有効な方策を検討する

内容： 検討を行うも、コスト面で早期の実施が困難との結論になった。

●ごみ袋についての調査

内容： 県下市町村の収集ごみ袋の状況を調査。ごみ収集の有料化との関係及び15年度実施予定のごみの分別状況の調査結果等も踏まえて、市町村への提言に結びつけていく予定。

(5)自然環境分科会

●自然環境学習講座

目的： 県内の自然環境に関する人材を増加させて、環境教育を充実させる。

内容： 教員や野外活動リーダー等の指導者を対象に自然観察、野鳥観察、ネイチャーゲームをそれぞれ体験してもらい、実践活動者の指導を受けて自らの活動プランを作成するリーダー養成講座を2回実施。

1回目 11月10日 橿原公苑周辺

2回目 3月21日 奈良公園周辺